

## 第12回 幹事会 議事録

幹事長 黒田 愛

- ・日 時 2026年3月18日（水）正午～午後1時00分
- ・場 所 Zoomミーティング
- ・出席幹事の数 22名（web出席）

幹事長は、本幹事会の議長として副幹事長繁松祐行を指名した。議長は、開会を宣し、以下のとおり議事を進行した。

### 【議事の内容】

#### 1 次年度幹事候補者、次年度選考委員候補者のご報告

黒田幹事長から以下のとおり報告があった。

- ・次年度幹事候補者について、現時点で資料1（黄色マーカー）のとおりに確定。未選任の各期幹事については、引き続き推薦を届け出ていただくよう声掛けしていく。
- ・次年度選考委員候補者に係る書面投票及び開票結果について、資料2のとおりに報告した。

#### 2 新入会員の報告

なし

#### 3 会費免除承認の報告

加門亜弥会員（73期）から産前産後休業、育児休業を理由とする会費免除申請があったこと、及び正副幹事長会においてこれを承認したことが報告された。

#### 4 大弁会務報告

河野豊副会長から、要旨、資料3のとおりに報告があった。

以下補足。

- ・資料3「第2 この間の企画」「1」「分野別登録センター規程の廃止」について、廃止時期を1年遅らせることとなった。
- ・同「2」「Ben1-スクール」について、Ben1 アワードの受賞団体から中高生が1時間質問・聴き取り等を行ない、その後30分でパワーポイントを作成し、これを用いて学んだこと等を発表する企画。関西テレビで取り上げられる等、大きな反響を得た。YouTubeでも閲覧可能であるため、是非閲覧いただきたい。

## 5 各種委員会からの活動報告／選考、政策、広報、研修、親睦、若手会

### (1) 選考委員会

黒田委員長から、要旨、以下のとおり報告があった。

- ・前回の選考委員会では、今後の会長・副会長の選考・推薦の仕方等について議論した。
- ・どのような点を重視して選考・推薦すべきかについてのアンケートを実施したところ、弁護士会での活動実績を重視すべきとの意見が最多数であった。意欲、弁護士業の実績を重視すべきとの意見もあった。他方で、修習期を重視すべきとの意見はほぼなかった。
- ・上記議論及びアンケートの結果については次年度執行部に引き継ぐ。

### (2) 政策委員会

中森委員長から、要旨、資料4のとおり報告があった。

以下補足。

- ・前回の政策委員会においては、春秋会綱領(三)「司法と人権の諸課題について、協同して研鑽を積み、政策を提言し、その実現に努める。」の規定から政策委員会ができること、及び法曹人口の推移(1990年では弁護士が約14,000人であったのに対し、2025年では約47,000と、3倍以上に増加している)等について改めて確認したうえで、次回シンポジウムの内容等について議論した。
- ・その結果、次回シンポジウムでは、築20年となる弁護士会館を維持・継続・有効活用するため、会館を巡る諸問題を取り上げることにした。

### (3) 広報委員会

河野副幹事長より、要旨、資料5のとおり報告があった。

#### (4) 研修委員会

松本委員長より、要旨、資料6のとおり報告があった。

以下補足。

- ・新入会員向け研修（来年度の企画）として、プロの講師をお招きして、「ビジネスマナーとコミュニケーションスタイリング」を令和8年5月20日（水）18時～開催予定。研修時間は2時間程度（講義と実技、ロールプレイング等を行なう）、その後懇親会も予定しているため、新人が入所する事務所においては新人のスケジュールを押さえておいていただきたい。

#### (5) 親睦委員会

田村委員長より、要旨、以下のとおり報告があった。

- ・今年度最後の企画として「謎解きゲーム企画」を3月5日に実施。20名から参加申込があり、参加者みな本格推理ゲームに真剣に（飲酒もほぼせずに）取り組んでいた。好評であったため、来年度以降も実施出来たらと考えている。
- ・上記企画について、詳しくは資料7参照。

#### (6) 若手会

中原世話役代表より、要旨、以下のとおり報告があった（資料なし）。

- ・2月の段階ですべての行事を終え、次年度若手会世話役代表に随時引継中。
- ・今月末に慰労会を兼ねた引継会を行なう。
- ・追いコン兼新人歓迎会について、4月30日を前提に調整中であるため、新人に情報共有いただきたい。
- ・ビジネスマナー研修（若手会も共催）について、若手会としても推進していく。

### 6 会計報告

黒田幹事長は、資料8をもとに、要旨以下のとおり報告した。

- ・資料8は3月13日時点の予算執行状況。
- ・会費減額により収入が従前よりも減額したこと、今年度は特別の出費（政策誌発刊のための費用、HPリニューアル費用、会長当選祝賀会の費用）があったこと、前年と比べ各項目で予算執行率が上がっていること等から、今年度は赤字となる見通しであるが、上記特別の出費がかからない通常年では黒字を維持できる見込み。

## 7 各種行事の案内

3月26日

春秋会3月総会@大阪弁護士会館1001・1002会義室+Zoom

以上